

証券コード：6302

# 株主のみなさまへ

第125期中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

 住友重機械工業株式会社



## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに、当社第125期中間期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）のご報告を申し上げます。

しもむらしんじ  
代表取締役社長 下村真司

### 経営理念

- ＜ 企業使命 ＞ 一流の商品とサービスを世界に提供し続ける機械メーカーを目指します。誠実を旨とし、あらゆるステークホルダーから高い評価と信頼を得て、社会に貢献します。
- ＜ 私たちの価値観 ＞ 顧客第一：顧客価値を第一に考え優れた商品とサービスを提供します。  
変化への挑戦：現状に甘んずることなく変化に挑戦し続けます。  
技術重視：独自の技術を磨き社会の発展に貢献します。  
人間尊重：互いを尊重し学び合い成長する組織風土を育みます。

### 当中間期の業績について

当中間期は、国内においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、緊急事態宣言の発出やその後の経済活動の停滞が見られ、海外においては、パンデミックによるロックダウンやそれに伴う経済状況の低落が見られるなど、機械需要は全世界的に下降局面を迎えることとなりました。また、これに加え、米中貿易摩擦の深刻化、地政学上のリスクの継続及び原油価格の変動

と低迷など、不透明感も増すことになりました。

このような経営環境のもと、当社グループは、従業員の安全確保や社会的要請への最大限の協力など新型コロナウイルス感染に対する対処を進め、罹患発生時における生産維持などの短期的なBCP（事業継続計画）の実現や受注減少局面での事業維持、工場の操業確保などに取り組んでまいりました。

こうした活動の結果、営業利益は前年同期比22%減

の212億円、経常利益は前年同期比26%減の191億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比34%減の109億円となりました。

また、当中間期の業績を受けて、中間配当金につきましては前年同期比47円減の1株につき9円とさせていただきます。

### 2020年度の経営方針について

当社グループは、2020年度の経営方針として、以下の活動に取り組んでまいります。

一つ目は、新型コロナウイルス感染症への対応です。当中間期は、在宅勤務などのテレワーク推進や作業現場の三密回避対策を行うとともに、生産維持などの短期的なBCP（事業継続計画）を実行し、生産への影響は最小限にとどめるなどの対策を実施しました。引き続き、従業員の安全確保、社会的要請への最大限の協力及び事業基盤の維持を優先し、感染防止に対する万全の体制とBCP（事業継続計画）強化で事業継続を確実にしてまいります。

二つ目は、経済活動回復過程における対応です。新型コロナウイルス感染症の第二波以降を想定した事業継続体制の強化を図り、半導体、物流、自動化関連事業などの堅調な需要に的確に対応する一方、需要に合わせた生産調整などボトムラインマネジメントを実施するとともに、引き続き財務規律を堅持してまいります。

三つ目は、長期的な視点での対応です。当中間期は、長期的な視点での対応として、使用済み紙おむつのリサイクルに関する他社との協業を開始し、スピニング加工機、フローフォーミング加工機を製造販売するドイツの機械メーカーである Leifeld Metal Spinning GmbH（ライフェルト社）の株式取得、半導体製造装置事業の新工場の建設の決定などを行いました。さらに、長期メガトレンドから社会課題解決を取り込み、分散型、リモート社会、グローバルサプライチェーン再構築といった社会構造変化に適應した次期中期経営計画の策定（2021年5月予定）、積極的な研究開発投資、戦略的な設備投資、人的資本の維持、成長に継続的に取り組んでまいります。また、従業員の安全、健康、育成などの基盤となるCSRに加え、よりよい暮らし、働き方の実現、環境負荷の低減といった価値創造のCSRの取組みも進め、社会課題の解決と当社グループの持続的成長の両立を図ってまいります。

当社グループは、これからも一流の商品とサービスの提供を通じて、社会の発展に貢献してまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



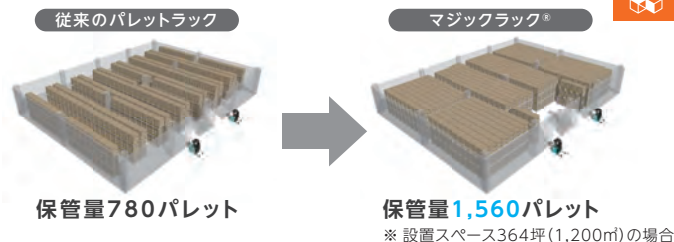
# 物流業界に新風を巻き起こす! 日本初の自動保管システム マジックラック®

物流業界ではここ数年、eコマースの急速な拡大による物流量の増大、サービスの向上や多様化などの影響を受け、現場の人手不足が深刻な問題となっています。そこで当社のグループ会社である住友重機械搬送システム株式会社では、長きにわたり工場や配送センターの物流システムを多数納入してきた実績を活かし、従来とは全く異なる発想で「高い保管効率」と「省人化・省力化」を実現する、日本初の自動保管システム「マジックラック®」を開発しました。



## マジックラック®のここがすごい!

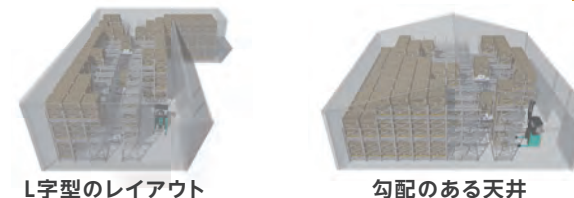
### その1 従来のパレットラックの2倍の保管量!



フォークリフト通路が不要となり、棚を隙間なく設置することで、業界最高クラスの保管効率を実現!



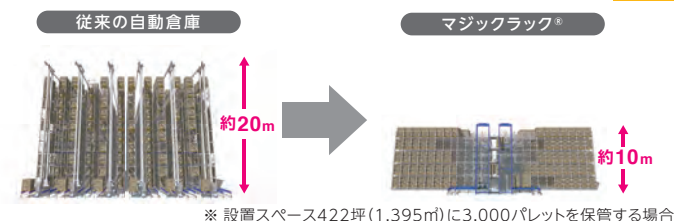
### その2 あらゆる倉庫にフィット!



自由なレイアウトにより、既存の倉庫を有効活用!



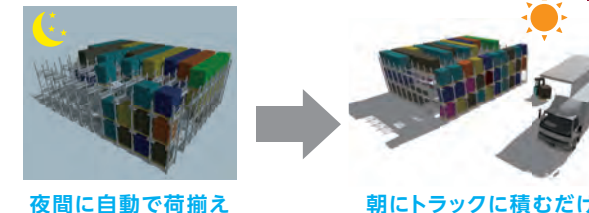
### その3 建築コストと消費電力の削減!



従来のスタッククレーン式自動倉庫に比べ、消費電力を10%削減! また半分の建屋高さで同じ数量を保管でき、建築コストを削減可能!



### その4 フォークリフト作業者の負荷軽減!



自動荷揃えと自動入出庫により、フォークリフト作業者の作業負荷を削減!



※「マジックラック®」は住友重機械搬送システム株式会社の日本における登録商標です。  
専用サイトで「マジックラック®」の動きをぜひご覧ください。専用サイトURL <https://magicrack.jp/>



### 今後の展望について

労働者人口の減少にますます拍車がかかり、人手不足が事業の命運を左右しかねない時代です。最新技術を積極的に取り入れ発展させることで、物流現場のあらゆるシーンにおいて「働き方改革」を後押しし、お客様の価値増大に寄与したいと考えます。

## 連結財務諸表 (単位:億円 億円未満四捨五入)

### 連結貸借対照表(要旨)

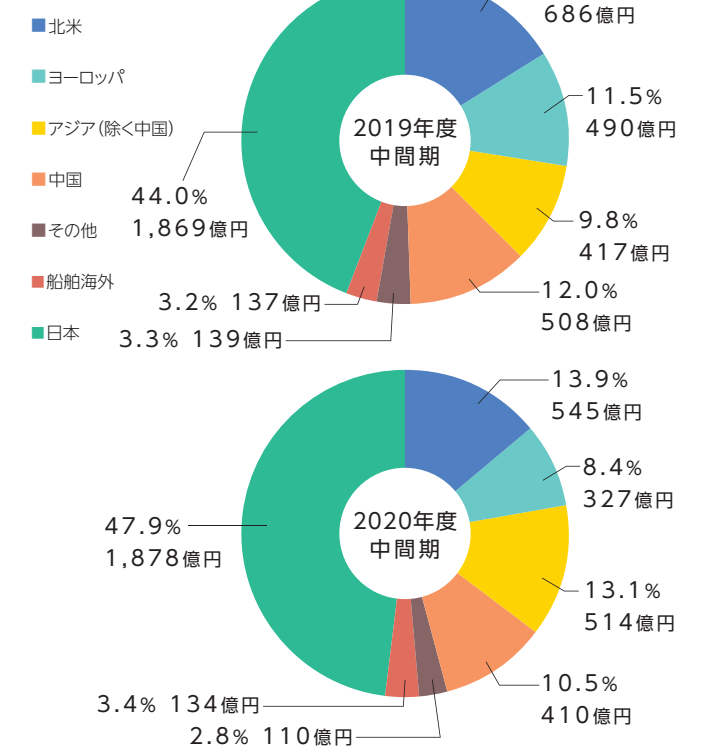
科目	2019年度末 (2020年 3月31日現在)	2020年度 中間期末 (2020年 9月30日現在)
流動資産	5,928	5,888
現預金	871	936
売上債権	2,714	2,548
たな卸資産	2,010	2,097
その他	333	307
固定資産	4,033	4,104
有形固定資産	2,681	2,732
無形固定資産	741	758
投資その他の資産	612	615
合計	9,961	9,992

科目	2019年度末 (2020年 3月31日現在)	2020年度 中間期末 (2020年 9月30日現在)
負債	5,185	5,190
買掛債務	1,585	1,437
有利子負債	1,247	1,433
その他	2,353	2,320
純資産	4,776	4,802
株主資本	4,231	4,311
その他の包括利益累計額	414	362
非支配株主持分	132	130
合計	9,961	9,992
ネット有利子負債比率	3.8%	5.0%
自己資本比率	46.6%	46.8%

### 連結損益計算書(要旨)

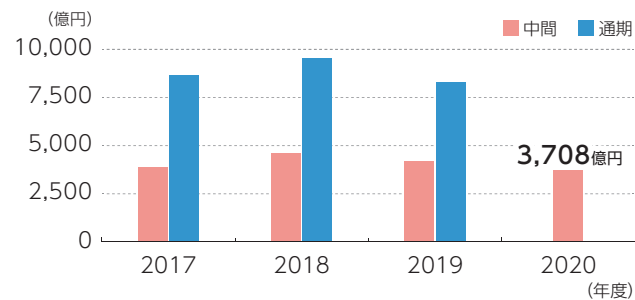
科目	2019年度 中間期 (2019年4月1日～ 2019年9月30日)	2020年度 中間期 (2020年4月1日～ 2020年9月30日)
受注高	4,186	3,708
売上高	4,247	3,917
営業利益	272	212
営業利益率	6.4%	5.4%
経常利益	258	191
経常利益率	6.1%	4.9%
特別損益(△は損失)	—	—
税金等調整前四半期純利益	258	191
親会社株主に帰属する 四半期純利益	164	109
親会社株主に帰属する 四半期純利益率	3.9%	2.8%

### 地域別売上高構成比

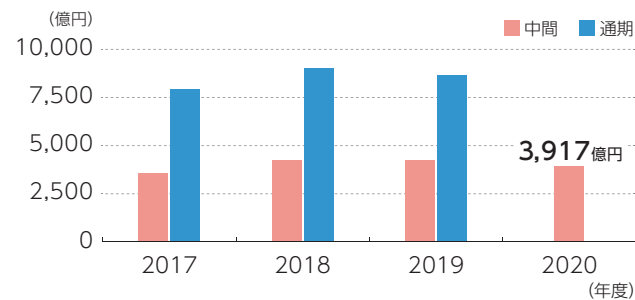


## 連結財務ハイライト

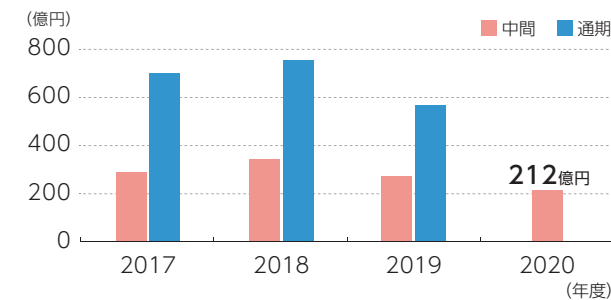
### 受注高



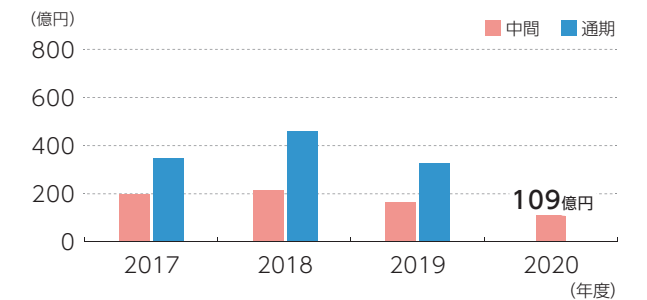
### 売上高



### 営業利益



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

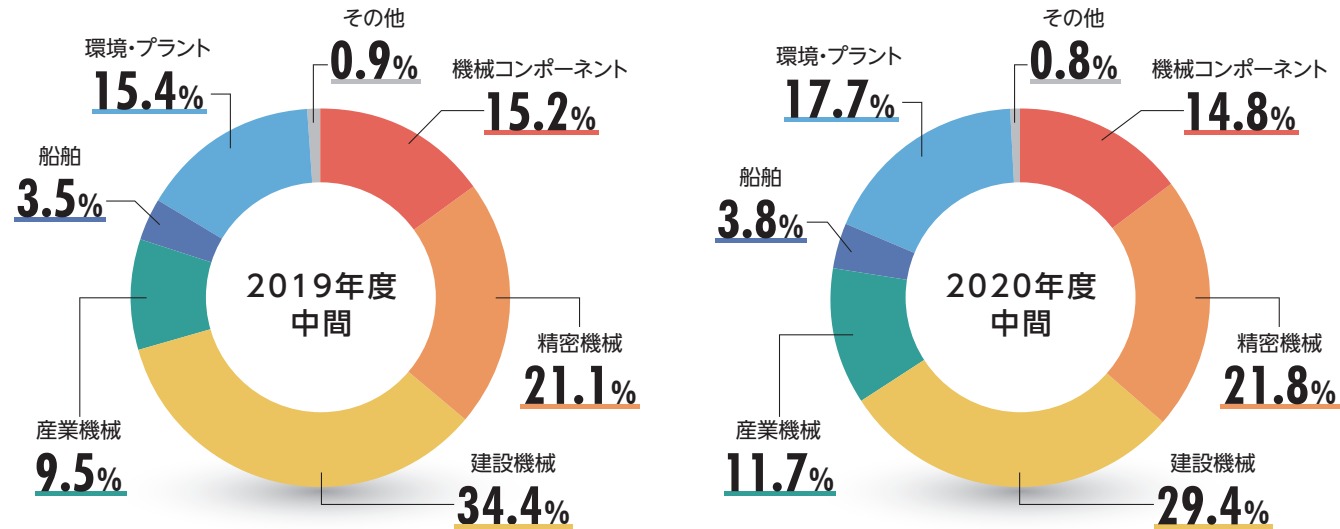


※ 記載金額は、表示単位未満を四捨五入して表示しています。

# セグメント別営業の概況

※記載金額及び比率は、表示単位未満を四捨五入して表示しています。

## セグメント別売上高構成比

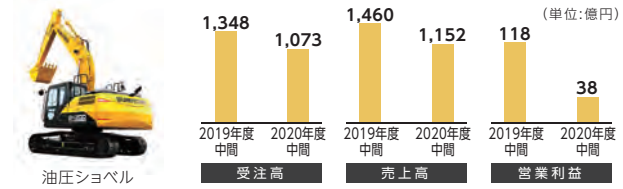


## 建設機械部門

主な製品 油圧ショベル、建設用クレーン、道路機械

売上高 **1,152** 億円 前年同期比 **-21%**

油圧ショベル事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、海外の需要が減少したことから、受注、売上、営業利益ともに減少しました。  
建設用クレーン事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け需要が減少したことや、原油価格低迷により北米地区の需要が減少したことから、受注、売上、営業利益ともに減少しました。

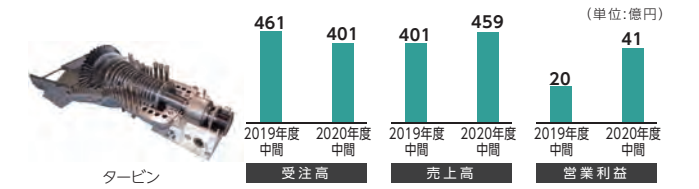


## 産業機械部門

主な製品 加速器、医療機械器具、鍛造プレス、運搬荷役機械、物流システム、駐車場システム、タービン、ポンプ

売上高 **459** 億円 前年同期比 **+15%**

運搬機械事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、物流システム、駐車場システムで発注先送りの傾向が見られたことから受注は減少しましたが、受注残があったことから売上、営業利益ともに増加しました。  
その他産業機械事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け受注は減少しましたが、産業用タービンで受注残があったことから売上は増加し、売上の増加に加え機種構成の変化もあり営業利益も増加しました。

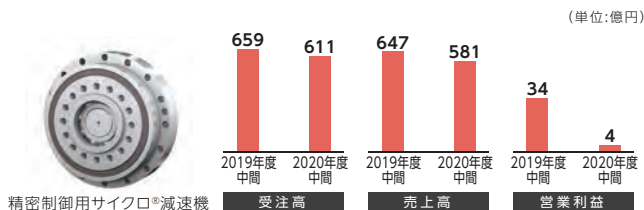


## 機械コンポーネント部門

主な製品 減・変速機、モータ、インバータ

売上高 **581** 億円 前年同期比 **-10%**

全世界的に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、受注、売上、営業利益ともに減少しました。

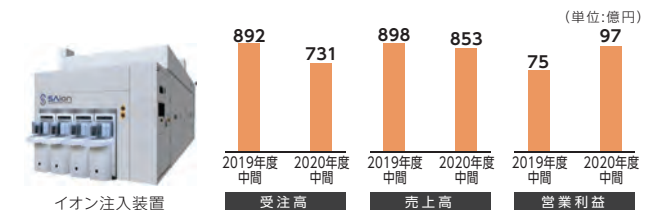


## 精密機械部門

主な製品 プラスチック加工機械、フィルム加工機械、半導体製造装置、レーザ加工システム、極低温冷凍機、精密位置決め装置、精密鍛造品、制御システム装置、防衛装備品、工作機械

売上高 **853** 億円 前年同期比 **-5%**

プラスチック加工機械事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、世界的に自動車関連の需要が減少したことなどから、受注、売上、営業利益ともに減少しました。  
その他精密機械事業は、半導体関連の需要が堅調で、受注は前年同期に比べ減少したものの、売上、営業利益は増加しました。

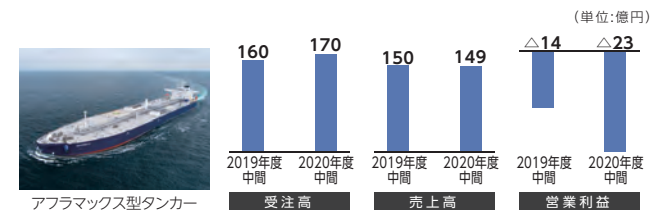


## 船舶部門

主な製品 船舶

売上高 **149** 億円 前年同期比 **-0.5%**

船舶市況は引き続き低迷しておりますが、前年同期比1隻増の2隻の新造船を受注しました。引渡しは前年同期比1隻増の2隻でしたが、船舶修理案件が減少したことで売上は前期並みとなり、引き続き営業損失となりました。

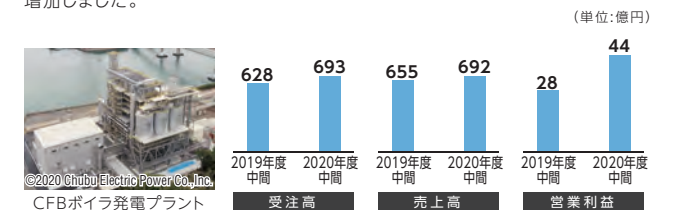


## 環境・プラント部門

主な製品 自家発電設備、ボイラ、産業廃棄物処理設備、大気汚染防止装置、水処理装置、プロセス装置、反応容器、攪拌槽、空調設備、食品製造機械

売上高 **692** 億円 前年同期比 **+6%**

エネルギープラント事業は、国内や欧州でバイオマス発電設備の大型案件を受注したことなどから受注は増加し、主に国内で受注残があったことから売上、営業利益ともに増加しました。  
水処理プラント事業は、排水処理装置の案件が前年同期に比べ減少したことなどから受注は減少しましたが、受注残があったことから売上、営業利益は増加しました。



## 新任社外取締役メッセージ



社外取締役  
濱地 昭男

2020年6月に就任した濱地社外取締役に、  
今までのご経歴、ご経歴を活かして今後社外取締役として、  
当社の経営にどのように貢献されるのかを語っていただきました。

### —自身の社外取締役としての役割について

私は三菱鉱業セメント株式会社（現 三菱マテリアル株式会社）で技師として生産現場で10年間過ごした後、米国でのM&Aや新興国での工場建設プロジェクトに事業企画、契約担当者として参画、さらに本社部門において広報・IR、経営企画の業務に携わりました。その後執行役員、取締役に就任、CFO、副社長、そしてグループ会社社長として、ガバナンス・コンプライアンス問題を含むさまざまな経営課題に対処してきました。

こうした経験を踏まえて、経営戦略策定、海外事業展開、コーポレートコミュニケーション、ガバナンスの分野を中心に経営陣に対し実践的な視点での助言に努めるとともに、独立した視点で経営の監督を行っていきたくと考えています。

### —社外取締役として当社経営に対して求めること

現下のコロナ禍によってビジネスモデルも変容しつつあります。当社グループの課題は、グローバルに多岐にわたって展開している機械・装置製造事業それぞれ

が変容した市場の中で今後も持続的に資本コストを上回る投下資本収益率を実現できるのか、しっかり見直しを行い、必要であれば事業戦略・ポートフォリオの見直しを果敢に行うことだと考えます。

また企業の価値として近年、従来からの財務価値に加えSDGs、ESGへの取組みなど企業の社会的価値も重視されるようになってきています。国内外に多くのグループ会社を持つ当社の場合、本社の力だけで取組みを浸透させるのは困難です。それぞれの組織のリーダーが、SDGsやESGへの取組みが企業価値を創造することを自らの組織の末端まで認識させ、社員の自律的な対応が進む企業風土づくりをすることが課題だと考えます。

### 略歴

2016年 4月 三菱アルミニウム(株)代表取締役社長  
2019年12月 ジャパンベストレスキューシステム(株)社外取締役(現職)  
2020年 6月 当社社外取締役(現職)

生年月日 1954年7月13日  
座右の銘 天は自ら助くる者を助く  
趣味 登山、料理

## 会社情報／株式情報 (2020年9月30日現在)

### 会社概要

設立	1934年11月1日
資本金	30,871,651,300円
従業員数(連結)	24,099名

### 事業所

本社／東京都品川区大崎二丁目1番1号

支社／中部支社(名古屋市)  
関西支社(大阪市)  
九州支社(福岡市)

工場／田無製造所(東京都西東京市)  
千葉製造所(千葉市)  
横須賀製造所(神奈川県横須賀市)  
名古屋製造所(愛知県大府市)  
岡山製造所(岡山県倉敷市)  
愛媛製造所新居浜工場(愛媛県新居浜市)  
愛媛製造所西条工場(愛媛県西条市)

研究所／技術研究所(神奈川県横須賀市)

### 株式の状況

発行可能株式総数	360,000,000株
発行済株式の総数	122,905,481株
株主数	34,490名

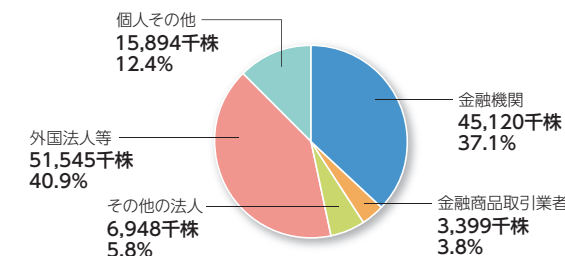
### 取締役及び監査役

代表取締役会長	別川 俊介	取締役	高橋 進
代表取締役社長	下村 真司	取締役	小島 秀雄
代表取締役	岡村 哲也	取締役	濱地 昭男
取締役	田中 利治	常勤監査役	高石 祐次
取締役	鈴木 英夫	常勤監査役	野草 淳
取締役	平岡 和夫	監査役	若江 健雄
取締役	小島 英嗣	監査役	中村 雅一

### 執行役員

社長	下村 真司	常務執行役員	島本 英史
執行役員副社長	岡村 哲也	常務執行役員	近藤 守弘
専務執行役員	田中 利治	常務執行役員	数見 保暢
専務執行役員	鈴木 英夫	常務執行役員	千々岩 敏彦
専務執行役員	平岡 和夫	常務執行役員	Shaun Dean
常務執行役員	森田 裕生	執行役員	荒木 達朗
常務執行役員	遠藤 辰也	執行役員	木村 定彦
常務執行役員	土屋 泰次	執行役員	田島 茂
常務執行役員	小島 英嗣	執行役員	白石 和利
常務執行役員	有藤 博	執行役員	渡部 敏朗

### 所有者別株式分布状況



※記載株式数及び持株比率は、表示単位未満を四捨五入して表示しています。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 [郵便物送付先] 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 [電話照会先] ☎0120-782-031 (受付時間:土、日、祝日、年末年始を除く9:00~17:00) [ウェブサイトアドレス] <a href="https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
公告方法	インターネット上の当社ウェブサイトに掲載します。(https://www.shi.co.jp) ただし、やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社等に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。証券会社等に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先までお問い合わせください。

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、下記の電話照会先までお問い合わせください。

### 【単元未満株式の買取請求及び買増請求について】

単元未満株式(100株未満株式)の買取請求及び買増請求は、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。特別口座に記録された株式に関するご請求の場合は、下記の電話照会先までお問い合わせください。

電話照会先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部



**0120-782-031**

(受付時間:土、日、祝日、  
年末年始を除く9:00~17:00)

 Sumitomo Heavy Industries, Ltd.

ホームページアドレス <https://www.shi.co.jp>



この報告書は環境に  
配慮し、植物油インキ  
を使用しています。



UD FONT

この報告書は見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。